

Junior Robot Competition 2024 Winter

基本ルール

3. チーム構成

3.1 チームの構成要件

- 3.1.1 チームは選手1〜3名および20歳以上のコーチ1名で構成することとする。
- 3.1.2 選手の年齢は次のとおりとする。また、下記A, B, Cの混合はできない。
 - A. 生年月日が2011年1月1日から2015年12月31日の小学生
 - B. 生年月日が2008年1月1日から2012年12月31日の中学生
 - C. 生年月日が2004年1月1日から2009年12月31日の高校生
- 3.1.3 チームは「スタンダードクラス」、「プライムクラス」の両方に参加することはできない。
- 3.1.4 選手は複数のチームに参加することはできない。
- 3.1.5 コーチは複数のチームのコーチを兼任することはできる。

4. 当日の競技

4.1 競技の実施方法

- 4.1.1 当日は競技を2回行う。行う競技は次のとおりとする。
 - 1回目: ノーマル競技
 - 2回目: One Add One Change競技
- 4.1.2 1回目のノーマル競技は事前に公表された競技ルールにより行う競技である。
- 4.1.3 2回目のOne Add One Change競技は、ノーマル競技のルールに「1つの追加」と「1つの変更」を施した競技である。この追加と変更は当日の1回目の競技終了後に発表する。

4.2 制限時間と計測

- 4.2.1 各競技の制限時間は120秒とする。
- 4.2.2 チームの記録タイムは、後述する競技終了時点でのタイムとなる。
- 4.2.3 各競技で定められたボーナス点以外に点数を得ることができなかった場合、または競技前にリタイアした競技の記録タイムは120秒とする。

4.3 競技の終了要件

- 4.3.1 競技を終了する要件は次のとおりである。
 - A. 制限時間120秒が経過する
 - B. 競技開始後にチームの選手がロボットに触れる
 - C. ロボットが競技コースから完全に離れる
 - D. ロボットやチームがルールに違反する
 - E. ロボットが完全に停止してチームの選手が「ストップ」と宣言する
 - F. 競技開始後にチームの選手が競技コースやオブジェクトに触れる(ペナルティの可能性あり)

Junior Robot Competition 2024 Winter

基本ルール

4.4 順位の決定方法

4.4.1 順位の決定方法は次の優先順位のとおりである。

- ①2回の競技の合計得点が高い順
- ②2回の競技の合計タイムが速い順
- ③One Add One Change競技の得点が高い順
- ④One Add One Change競技のタイムが速い順
- ⑤ノーマル競技の得点が高い順
- ⑥ノーマル競技のタイムが速い順
- ⑦同率順位とする

5. ペナルティ

5.1 ペナルティの内容

5.1.1 チームはこの文書に記載されているルールに違反した場合、次の1つ以上のペナルティを課せられる可能性がある。

- A. 15分間のペナルティタイム(ロボットやプログラムの調整等禁止)
- B. 1回または2回とも競技に参加できない
- C. 1回または2回とも競技得点の最大50%減点
- D. 大会からの完全な失格

6. 禁止事項など

6.1 禁止事項

- 6.1.1 ロボットは競技において自律的に動作しなければならない。そのため、外部から力や情報を与えてはならない。
- 6.1.2 当日は選手自身の力で競技にチャレンジする。そのため、開会式後は自チームの選手以外のものと会話や通信、情報のやり取りを行ってはならない。ただし、緊急時に必要な場合は審判等スタッフの許可を得ること。
- 6.1.3 当日の開会式後は他のチームとロボットやパソコンを共有してはならない。
- 6.1.4 当日の開会式後はUSBメモリなど外部記憶装置を使用してはならない。ただし、緊急時にバックアップファイルが必要な場合は審判等スタッフの許可を得ること。
- 6.1.5 当日の開会式後に外部から選手エリアにロボットやパソコンを持ち込んではならない。ただし、機器の故障時などに備えて予備機をコーチが一元管理している場合は審判等スタッフの許可を得ること。
- 6.1.6 当日の開会式後に指定されたエリアから退出してはならない。
- 6.1.7 審判等スタッフや他チームへの妨害行為、迷惑行為を行ってはならない。また、審判等から指示があった場合は速やかに従わなければならない。

6.2 倫理規定

- 6.2.1 本大会は青少年の学習が第一の目的であるため、コーチ等は選手に代わりロボットやプログラムを制作しないこと。
- 6.2.2 コーチは選手任せにせず大会の趣旨やルールを把握し、適切なアドバイスや情報提供を選手に行い、健全な競争につながるよう心がけること。
- 6.2.2 選手自身も他者に任せず自ら情報収集し、自ら手を動かし、自ら考え、研鑽を積むこと。そのためにコーチからアドバイスをもらったりしながら二人三脚でこの大会に臨むこと。

6.3 その他

- 6.3.1 この文書に記載のない項目においては、審判等スタッフが判断し、裁定する。